

秋田ばっけの会便り

No.103 (2024年4月号)



KHJ秋田ばっけの会
090-9539-2365
khjakitabakke@gmail.com

皆さまいかがお過ごしでしょうか。

* * * * *

第93回「集い」・2024年度秋田ばっけの会総会 4月14日(日)

新年度最初の会、秋田市は桜がちょうど満開でお花見の人々で賑わっておりました。そのような中で、12名の参加者でちょっと寂しく感じられましたが、初めに総会を行いました。

体調が思わしくなくしばらくお休みしていた代表の菅原学さんから、昨年秋に代表辞任の意志表示がありました。その意向を受けてミーティング参加の方々と相談をして来ました。これまで代表代理を務めていた佐藤智美さんから引き継ぎたいとの意志を示していただきましたので、この度、新たな代表にお願いすることになりました。

当日、菅原さんも久しぶりに顔を見せて下さいました。2015年の発足以来、代表として力を発揮して下さいました。本当にありがとうございました。

皆さんお久しぶりです。

菅原学です。

2015年から代表を務めて来ましたが、この度辞めることを決めさせていただきました。

事務局の皆さん、当事者の方々、たくさんの皆さんとの出会いに恵まれ、支えられてここまで来たと思います。皆さん本当にありがとうございました。



佐藤智美です。

この会に参加したきっかけは、菅原さんに声をかけてもらったことでした。この場のおかげで、自分と向き合い、少しずつ自分を解放していったと思っています。

菅原さんのこの会への思いを大切にしながら続けていけたらと思って、代表を引き継ぐことにしました。ご協力をよろしくお願いいたします。

続いて、2023年度の**事業報告**と**会計報告**(別紙添付資料)を事務局から簡単にさせていただきました。皆さまから、会費、カンパの他、切手や事務用品、お菓子などいただき、おかげさまで183,275円を新年度に繰り越すことができました。当事者・経験者の方々を初めとして参加の皆さまから会の準備や後片付け、運営についての話し合いなど、たくさんの“力”をいただきました。

今回、代表が交代しましたが、事務局長にはもう少し続けてもらうことになりました。毎回のミーティング参加のスタッフに運営委員をお願いします。ご協力いただける方はどなたでも大歓迎です。よろしくお願いいたします。

* * * * *

後半「集い」を行いました。当事者・経験者のStさんは、社員旅行のお土産を携えての参加です。初めて参加のItさん、ご自身とご家族の状況や参加の目的を実に簡潔にわかりやすくお話下さいました。参加の家族の方々にとっては、それぞれの来し方を思い出し、切なかつたようですが、^{ひとごと}他人事でないからこそその意見も出されました。また、当事者・経験者の皆さんからは、経験者だからこそ適切な質問が次々と出され、Itさんは一つ一つ丁寧に誠実に答えておられました(キャッチボール=しっかりと受け止め、しっかりと相手に返す Itさんの言葉です)。思い出すと胸がいっぱいになるようなとてもいい対話の時間でした。その父の姿勢をきっと息子さんは受け止めてくれると思いました。(眠れていますか)や(自分自身の心配もしてあげて)などの声もありました。

* * * * *

本人の会「居場所」 4月21日(日)

15名の参加でした。途中で分科会形式になりましたが、(将来への(漠然とした)不安)(文章の書き方・話し方)などが話題になりました。それぞれが本音を出し合って真剣に語り合い、自らの変化にもつながるような「対話」になって行ってくれることを期待しています。

* * * * *

今年度、どんな「集い」「居場所」になるでしょうか。よろしくお願いいたします。

秋田ばっけの会 2024年5月の予定

●第94回「集い」

日時；2024年 5月12日（日）13：30～15：30

会場；秋田市役所内センター3階 洋室2・3

●本人の会「居場所」

日時；2024年 5月18日（土）13：30～15：30

会場；秋田市役所内センター3階 和室1・2

●運営ミーティング 5月12日（日）「集い」終了後に予定しています。



※訂正とお詫び 「便り」バックナンバーを調べましたところ、2023年10月号以降「集い」の回数に間違いがあったことがわかりました。4月は第93回になります。

《 報 告 ・ 情 報 ・ 紹 介 》

4月26日、「ひきこもり支援推進議員連盟主催シンポジウム」が衆議院第一議員会館で開催されました。KHJ本部からもご案内がありました。法制化への機運を高めたいと考えているとのことです。

朝日新聞が4月28日付で「ひきこもり支援策 自民議連が骨子案 超党派の立法化検討」という見出しで報道しています。お読みの方も多いと思いますが、記事の中から紹介します。

骨子案では、ひきこもりについて「生活を円滑に営む上で困難を有し、家庭にとどまるなどして、他者との関わりが希薄な状態、その他の生活で孤独を覚え、または孤立している状態にある者」などと定義。

基本施策として、▽啓発活動などによる理解の増進▽アウトリーチ型の相談支援▽ソーシャルワーカーや医師といった専門人材の確保▽支援のためのマニュアルの策定▽自治体や民間団体への支援▽実態調査などの調査研究の6項目を掲げた。

★ KHJ関係の情報です。

*

『KHJジャーナルたびだち』（108号春季号2024年4月発行）が届きました。

今号の特集は「8050を生き抜く～今できることは何か～」です。「親が生きている間にやっておくべきこと」（KHJ高知・坂本勲氏）、横浜市北区〔地域ケアプラザ〕の実践、「道に迷ったら縁に従って今を大切に」（永正寺住職・藤木隆宣氏）、「“はみ出し者でかまわない”ありのままの自分で生きる」（宮本徹衆院議員）など、どうぞ目を通して下さい。

*

※ 『たびだち』108号のKHJ高知親の会〔やいろ鳥〕の会会長、坂本勲さんの「親が生きている間にやっておくべきこと」を読んで頂きました。私自身同じように考えていました。同感です。「親が生きているうちに自分の人生を振り返り、自分は何を求めて生きて来たのかももう一度捉え直すことではないだろうか。」と。「子どもの話をしっかり聴くこと」「子どもを信頼することは子どもに生きる力を与えること」とも。ぜひ、皆さまにもお読みいただきたいと思います。（事務局Y）

*

「ひきこもり大学」のご案内が入っています。2024年5月4日13時45分から、東京都豊島区で開催されます。

*

OSDよりそいネットワークで作成した、『我が家の8050あんしんノート』が送付されて来ています。興味関心のある方は、〔秋田ばっけの会〕事務局に声をかけて下さい。

*

※通院などで事務局不在の場合もあります。ご連絡やお問い合わせはE-mailか携帯電話のSMSで。

※ご希望があれば「便り」をメールでお届けすることも可能です。

♡感謝

- ・大仙市のIt様から会費をいただきました。
- ・「集い」「居場所」に参加の皆さま方からカンパやお菓子をたくさんいただきました。『たびだち』もお買い求めいただきました。
- ・電話やメールなどでの連絡、お問い合わせやご相談もたくさんありました。

★ 年会費とカンパへのご協力をお願いします。

*切手やコピー用紙、封筒などの物品も大歓迎です。

*送金は、北都銀行 檜山支店（名義）KHJ秋田ばっけの会 事務局長 妹尾弘
（店番）015 （口座番号）8108428